

花のある空間

大高 令子

秋に楽しむダリアのインパクト

ダリアは、いまではバラと同じように通年出回っていますが、そもその旬は秋です。

これからの季節には、購入できる品種も多彩になるとともに、花もちもよくなります。

花はすっきりとした一重咲きのものから豪華な八重咲きのものまで、またサイズもゴルフボール程の小さなサイズから大輪品種まで様々で、それぞれに印象が大きく異なるところも魅力です。

なかでも、人の顔ほどの大きさの“カフェオレ”という1つの品種で、インパクトのあるアレンジメントをつくってみましょう。

まず花を留めやすいように、口の細い花器を用意します。ダリアは水が濁りやすいので、ながが見えない陶器などがおすすめです。

植物2種の茎は、水を吸いやすいように斜めにカットしておきます。

ダリアは余分な葉をハサミで切り落とし、花同士が重ならないように花器に挿していきます。

木苺の枝葉は、花器に入るように下葉を落としてから、ダリアの間にクッションになるように挿します。

ダリアが映えるように、全体のバランスを整えて完成です。

また、ダリアの茎はバクテリアに弱いので、まめに水を替え、水の量も少なくするように心がけましょう。



今月の花材

ダリア [カフェオレ]

木苺の枝葉 [ベビーハンズ]

その他…… 細口の花器 (陶器のものなど)

おおたか れいこ <https://rencontrer.jp/>

花のアトリエ「ランコントレ」主宰。フランスで培ったフローラルワークを手がける。